

1 単名 「日本の諸地域」(中部地方)

2 目標

- 中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを人々の暮らしと密接に関わる産業から追究し、捉えようとしている。
(社会的事象への関心・意欲・態度)
- 中部地方の産業における地域的な違いについて、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなど多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。
(社会的な思考・判断・表現)
- 収集した資料から、中部地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、表にまとめたりすることができる。
(資料活用 of 技能)
- 中部地方の産業を、中核とした考察を基に地域的特色から総合的に捉え、その知識を身に付けることができる。
(社会的事象についての知識・理解)

3 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領解説社会編(以下解説という。)地理的分野の内容(2)「日本の様々な地域」、ウ「日本の諸地域、日本をいくつかの諸地域に区分し、それぞれの地域について、地域的特色をとらえさせる。」に含まれる内容である。また、この単元について解説では、「(ア) 自然環境を中核とした考察」や「(イ) 歴史的背景を中核とした考察」、「(ウ) 産業を中核とした考察」、「(エ) 環境問題や環境保全を中核とした考察」、「(オ) 人口や都市・村落を中核とした考察」、「(カ) 生活・文化を中核とした考察」、「(キ) 他地域との結び付きを中核とした考察」を学習させることをねらいとしている。内容の取り扱いについては、「地域的特色ある地理的事象や事柄を中核として、それを他の事象と有機的に関連付けて、地域的特色を追求するようにすること。」、「考察の仕方は学習する地域ごとに一つ選択すること。」とあり(ア)～(キ)を考察する事項を羅列的、並列的に取り上げるのではなく、実態に合わせ、地域的特色ある事象や事柄を他の事象と有機的に関連付けて、地域的特色を追求するという動的な扱いとなっていることが示されている。中部地方は日本の諸地域の学習の中で特に広い地方であり、中部地方の特色として、一つの特色を見出すことは難しい。しかし、東海、中央高地、北陸という三地域において、それぞれの特色ある産業が見られるということを捉えさせることで、中部地方の特色を捉えることができると思う。

(2) 生徒の実態について (平成28年〇月〇日実施)

本校の第2学年〇組の生徒(〇人)を対象に、単元「世界と比べた日本の地域的特色」まで学習した時点での資料活用及び思考力に関する実態調査を実施したところ、次のような実態が見られた。その結果、資料を適切に選択できる生徒は〇人中〇人であった。そのうち読み取ったことを正確に説明できる生徒は〇人であった。さらに、その中で読み取った地理的事象を関連付けて考察できた生徒は〇人であった。これらの結果から地理的事象のもつ様々な側面や違った角度から考察する力に課題があると考えた。この実態を改善するために、選択された資料について、一面的な捉えではなく、他の資料と関連付けて考察したり、複数の考察を積み重ね、自らの考えを主体的に表現したりする学習が必要であると思う。

(3) 指導について

中部地方は、日本アルプスに見られる山地と濃尾平野をはじめとする沿岸部の平野を境界として、東海、中央高地、北陸という三地域に区分されている。この単元では、自然環境や気候との違いで表される地域区分が、人々の生活の営みと大きく関わる産業においても特色をもっているか、という地理的な見方や考え方を身に付けることが重要である。よって、地理的事象の事実認識や焦点化だけでなく、中核とした地理的事象のもつ多面性を他の地理的事象と関連付けて多角的に考察し、地域的特色を総合的に捉える場にしていく。指導に当たっては、中部地方の三つに地域のそれぞれに見られる特色ある産業の成立背景を、複数の地理的条件と関連付けて考察し、複数の考察を積み重ねていくことで地域的特色を総合的に捉えさせていきたい。また、産業と他の地理的事象を関連付ける過程で帰納的に推論しそれを積み重ねることで、考察に一般性もたせられると思う。これは、地域的特色を捉える学習において有効な手法であり、他の地域への汎用性をもっていると思う。

4 単元の指導

(1) 評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断・表現	資料活用 of 技能	社会的事象についての知識・理解
中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを人々の暮らしと密接に関わる産業から追究し、捉えようとしている。	中部地方の産業における地域的特色の違いについて、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	収集した資料から、中部地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、表にまとめたりすることができる。	中部地方の産業を、中核とした考察を基に地域的特色から総合的に捉え、その知識を身に付けている。

(2) 単元計画 [日本の諸地域](中部地方)(6時間扱い)

時	学 習 活 動	指導上の留意点 (◎評価) ※地理的事象を多面的・多角的に考察する力を育てるための手立て																		
1	<p>1 今までの学習を振り返り、中部地方がどのような区分で分けられているのかを、地形や自然環境の様子から予測する。</p> <p>2 中部地方における人々の生活の様子も、各地域で異なるのか話し合う。</p> <p>3 単元を通しての学習課題を設定する。</p> <p>中部地方において各地域で特色ある産業が発達している。各地域で特色ある産業が見られるのはなぜだろう。</p> <p>4 各地域の人々の生活に密接に関わり合う産業について必要な資料を考える。</p> <p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>中部地方は各地域で特色ある産業が発達しているようだ。</p>	<p>◎中部地方の地域的特色について、東海、中央高地、北陸の各地域の違いを人々の暮らしと密接に関わる産業から追究し、捉えようとしている。 (関心・意欲・態度)(ワークシート)</p>																		
2	<p>1 学習課題を確認する。</p> <p>中部地方の産業の特色を表すキーワードを見つけ、資料を集めよう。</p> <p>2 特産品・特産物から見つけた、各地域の産業の特色となるキーワードを当てはめる。</p> <table border="1" data-bbox="146 922 817 1227"> <thead> <tr> <th>特産品・特産物</th> <th>キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>静岡のお茶</td> <td>施設園芸農業</td> </tr> <tr> <td>愛知の電照菊</td> <td></td> </tr> <tr> <td>長野の野菜</td> <td>抑制栽培</td> </tr> <tr> <td>山梨の果樹</td> <td>観光農園</td> </tr> <tr> <td>鯖江のメガネフレーム</td> <td>地場産業</td> </tr> <tr> <td>小千谷ちぢみ</td> <td>伝統産業</td> </tr> <tr> <td>富山のアルミサッシ</td> <td>北陸工業地域</td> </tr> <tr> <td>東海の輸送機械</td> <td>中京工業地帯</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 採り上げた特産品や特産物とそれらに関係するキーワードを見だし、その地域でその産業が成立していることを示す資料を収集する。</p> <p>4 採り上げた資料から分かることをまとめる。</p> <p>5 本時の学習を振り返る</p> <p>中部地方の産業と関連付ける事柄を追究しよう。</p>	特産品・特産物	キーワード	静岡のお茶	施設園芸農業	愛知の電照菊		長野の野菜	抑制栽培	山梨の果樹	観光農園	鯖江のメガネフレーム	地場産業	小千谷ちぢみ	伝統産業	富山のアルミサッシ	北陸工業地域	東海の輸送機械	中京工業地帯	<p>◎特産品や特産物が書かれた主題図を提示し、前時までに見つけた資料と結び付けて、中部地方の各地域の特色ある産業を見出させる。</p> <p>◎キーワードに結びつかない特産品、特産物にはキーワードなしとし、資料を収集、選択するように促す。</p> <p>◎適切なキーワードを選べるようにグループで相談し、確認できるようにする。</p> <p>◎特産品、特産物と結びつくキーワードを関連付けさせ、選択した資料を整理できるようにする。</p> <p>◎中部地方の産業を、中核とした考察を基に地域的特色から総合的に捉え、その知識を身に付けている。(社会的事象についての知識・理解)(ワークシート)</p> <p>◎必要な資料に付箋紙やシールを付けて、調べることへ見通しをもたせる。</p> <p>◎収集した資料から、中部地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、表にまとめたりすることができている。(資料活用の技能)(ワークシート)</p>
特産品・特産物	キーワード																			
静岡のお茶	施設園芸農業																			
愛知の電照菊																				
長野の野菜	抑制栽培																			
山梨の果樹	観光農園																			
鯖江のメガネフレーム	地場産業																			
小千谷ちぢみ	伝統産業																			
富山のアルミサッシ	北陸工業地域																			
東海の輸送機械	中京工業地帯																			
3	<p>1 本時の学習課題を確認する。</p> <p>東海地方の産業にはどのような特色があるのだろうか。</p> <p>2 東海地方の特産品や特産物をキーワードと結び付けてワークシートへ記述する。</p> <p>3 東海地方の特産品や特産物とキーワードを結び付け、東海地方でこれらの特色ある産業が成立している理由を、気候、自然環境、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて考え、ワークシートへ記述する。</p> <p>4 関連付けて出した考えを工業・農業の特色でまとめる。</p> <p>5 本時の振り返りをする。</p> <p>例) 東海地方はせんい産業から製造業が発展し、交通が発達していることで工業がさかんになっているのだろう。</p>	<p>◎収集した資料から、東海地方の産業に関連することを確認させる。</p> <p>◎ワークシートの表に、縦軸は農業と工業に関する特産品、特産物とキーワードを整理し、横軸は気候、地形、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて、自分の考えをまとめるようにする。</p> <p>◎マトリクス・メソッドを活用し、思考過程を可視化できるようにする。</p> <p>◎中部地方の産業の地域的特色について、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>																		

時	学 習 活 動	指導上の留意点 (◎評価) ※地理的事象を多面的・多角的に考察する力を育てるための手立て
4	<p>1 本時の学習課題を確認する。 中央高地の産業にはどのような特色があるのだろう。</p> <p>2 中央高地の特産品や特産物をキーワードと結び付けてワークシートへ記述する。</p> <p>3 中央高地の特産品や特産物とキーワードを結び付け、中央地方でこれらの特色ある産業が成立している理由を、気候、自然環境、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて考え、ワークシートへ記述する。</p> <p>4 関連付けて出した考えを工業・農業の特色でまとめる。</p> <p>5 本時の振り返りをする。 例) 中央高地では山地が多く稲作に向いているので冷涼な気候を利用して抑制栽培を行い、大都市へ出荷する野菜の生産が盛んなのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料から、中央高地の産業に関連することを確認させる。 ・ワークシートの表に、縦軸は農業と工業に関する特産品、特産物とキーワードを整理し、横軸は気候、地形、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて、自分の考えをまとめるようにする。 <p>※マトリクス・メソッドを活用し、思考過程を可視化できるようにする。</p> <p>◎中央高地の産業の地域的特色について、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>
5	<p>1 本時の学習課題を確認する。 北陸地方の産業にはどのような特色があるのだろう。</p> <p>2 北陸地方の特産品や特産物をキーワードと結び付けてワークシートへ記述する。</p> <p>3 北陸地方の特産物や特産品とキーワードを結び付け、北陸地方でこれらの特色ある産業が成立している理由を、気候、自然環境、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて考え、ワークシートへ記述する。</p> <p>4 関連付けて出した考えを工業・農業の特色でまとめる。</p> <p>5 本時の振り返りをする。 例) 北陸地方では冬の農家の副業から伝統産業や地場産業が発達してきたのだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・収集した資料から、北陸地方の産業に関連することを確認させる。 ・ワークシートの表に、縦軸は農業と工業に関する特産品、特産物とキーワードを整理し、横軸は気候、地形、歴史的背景、他地域との結び付きと関連付けて、自分の考えをまとめるようにする。 <p>※マトリクス・メソッドを活用し、思考過程を可視化できるようにする。</p> <p>◎北陸地方の産業の地域的特色について、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p>
6	<p>1 本時の学習を確認する。 各地域で特色ある産業が発達しているのはなぜだろう。</p> <p>2 東海 中央高地、北陸の各ワークシートから自分の考えを見直し、ワークシートへ記述する。</p> <p>3 三つに地域の特色を概観し、地域で特色がある産業が発達していく理由を考え、ワークシートへ記述する。 例) 地域で特色ある産業が発達するのは、自然的な要因も大きいですが、歴史的に手工業が盛んであった場所や、消費地までの交通網、原料を手に入れるのに有利な場所など、様々な理由が考えられる。神栖市の場合は、広い土地と原料を手に入れやすく、輸出するのに便利な港が近くにあることで工業がさかんである。また、砂地で温暖な土地から、ピーマンの栽培が盛んである。</p> <p>4 学習の振り返りをする</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元をつらぬく課題を確認させ、今までの各地域の産業の特色から中部地方の特色を捉えさせることを確認する。 ・前時までのワークシートを確認し、必要な言葉を選んでまとめるようにする。 <p>◎産業の地域的特色について、地形や気候、歴史的背景、他地域との結び付きなどと関連付けて多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 (社会的な思考・判断・表現)(ワークシート)</p> <p>※前時までのワークシートの自分の考えを見直す過程で、抽出する文章に印を付け、多面的・多角的な考察をつくりだせるようにする。</p>

